

學校幼稚園のため

學校と幼稚園とに於ける管理の原則

女高師教授 町田則文

學校並に幼稚園を管理するの原則は校園其物に自ら備りて他より強ひられたるものにあらず。即ち校園の目的物たる兒童の精神中に原則の發端を有するものなり。植物學者は植物生長の原則を植物夫れ自身の中に求めざる可からず外部より原則を定めて之を支配すること能はざるなり。生理家は血液循環の原則を血液循環の事實中に探らざる可からず、太陽系統の運行は之を太陽系統其物の中に固有する法則に従つて理法を定めざる可からず。之れ等は皆吾人爲の法則を以て之を律す可からず。彼の有名なるニュートン氏が引力の

理法を定めたるは決してニュートン氏の獨創にあらずる可し。万物互に牽引するの事實は太古の昔よりありたることにて只ニュートン氏其人を待つて吾人は初めて此事實の動す可らざる原則たるを認知したるなり。其他ダーウ・ソンの發見と云ひワット氏の發見と云ひ何れも人力を以て定めたるものにあらず。否單に人力のみを以ては天下の事物に對しては如何なる効力をも生ずること能はざる可し蓋し人間の能力は只纒かに自然の原則をして故障なく其作用を逞ふするの機會を作るに過ぎざる可し。今織物工業に於ける實例を以て之を證明せんに世人は一般に綿布絹布の織物を以て全然人力の之を作り出したるが如くに考ふれども決して然らざるなり。人間の能力は單に適當なる方法を用ゐて大小の絲を接觸せしめたるに過ぎず。其

他の作用は分子牽引の天然原則行はれて互に相ひ組み合ひ如何なる外力を加ふるも分離せずして一定の織物と成居るなり。若し此分子力のなかりせば織物の絲は忽ちに個々別々に分離して一定の形をなすこと能はざるならん。以上の如く天然界の事物に於ける原則發見の方法は一目瞭然に確定して一言も之れに向つて批難を試みることはざる可しと雖も此理由を人事界に應用して考ふることは能はざるは誠に古來人類の欠點の存する所ならん。

抑も古來よりの歴史を看るに政治界なり經濟界なり渾て人事上の範圍にありては各々原則を事實夫れ自身の中に求めずして猥りに外部より製作して以て之れを強ひんとせり。従つて之れか爲めに甲の認めて以て原則とする所のものは乙は之れを排

撃し乙の以て原則とする所のものは丙之れを排撃して遂に何れの原則が果して眞正の原則なるかを定むるに苦むこと多し加之のみならず抑壓の徒は無理に自己の認めたる原則を強むんとして之れが爲めに弊害百出底止する所を知らず之れ畢竟するに原則發見の方法を誤りたる所以にして斯くの如き事實は人事界の範圍にありては古今の歴史上に其の實例多く人々が如何に盡力して社會大改造の方案を立つるも其の社會は始めより其の内に固有する所の性質及び運命即ち一定の原則に従つて運行し頑として動かざるを見る可きなり。全國民に向て命令したる國家の法律命令の如きも斯の如き任意の人造的方法を以てするときは決して一市村に於ける生活の潮流だも變更し得可きものにあらず。何れも皆事物夫れ自身の中に原來固有する

原則に據りて設定せざる可らず。國家は自ら支配せんが爲めに法律命令を宣言すれども此の法律命令は國家其物の固有する所の内面中にある原則を單に外面に發表したる迄にして國家は實際は此内面的法律命令にのみ従順するものなり。然るに猥りに人意を以て原則を設定して法律命令を作るときは其外面に顯はれたる形式は如何に立派なるも如何に完全なるも如何に周到なるも眞正の従順を得ること能はざるは勿論にして、古來より政治家が多く失敗を招きたるは主として此理由を知らざるに因るなり。

世上幾多の學校幼稚園を見るに訓育の方法と云ひ教授の方法と云ひ前述したる理由を省みざる所のもの頗る多し。若し前述したる理由が果して正鵠を得たりとするときは、校園にありても亦此理由

を以て之を支配せざる可からず尤も今日教育に従事するものは兒童身心の發達を以て教育方案の起點とす可き位の事は何人も之れを唱へざるものはなかる可し。然れども深く實際を洞見するときには云ふ所と行ふ所とを異にし未だ嘗て眞誠に根底より此理由を達觀したるものはあらざる可し。古今の教育家中眞に此理由を達觀したるものは夫れペスタロッチ、フレベルの二氏あるのみ。其他は多く兩氏の祖述したる方法を襲踏するに過ぎざる可し何となれば。今日の實際を看るに常に一定の教授方法とか一定の管理の方法とかに拘泥し實地教育家が自ら實際的に深く研究しあるもの少なく亦其學理を講ずるものは徒らに教育學理にのみ走り自ら實地に兒童教育を試みて學理を定めんとするの勇氣に乏しく。實地家は實地にのみ抱泥し理論

家は理論にのみ拘泥し理論と實地と更に調和せざることを多ければなり。

今日我國の教育界は過渡の時代なり進歩の楛楛なり。故に理論と實際との調和せざるは亦止むを得ざるなり。敢えて深く之を咎めざる可しと雖も今日の現態をして正式の現況なりとして之に満足せんとするに至りては吾が輩之を難せざる可らず、今日の教育理論家に向つては將來益々實地の方面に於て材料を求め、亦實地家に向つては理論の研究を益々深くし以て實際上より原則を案出するの研究を盛んにせんことを希望するものなり。今を去ること數十年前北米合衆國に於て初めてペスタロツチ主義を採用したるときには時の教育家シエルドン氏、ホーレスマン氏等主としてクルージ―氏（當時ペスタロツチ主義の爲めに北米に招か

れたる人）に就きて研究し從來米國に行はれたる理論的方法のみにては教育の大成を期するを能はざるを看破し理論と實際との調和の必要なる所以を研究せられたり、蓋し斯の如き大家が研究を初めたるなれば其他未流の人は何れも其流れを酌まざるはなきに至り遂に彼國に於ける小學教育の完全なる基礎をなしたりと云ふ。然るに我國現時の如くに理論家と實地家と調和せざる間は獨立堅固なる基礎の上に教育の實際方法を完全に立つること能はざるは勿論なりと知る可し。

凡そ各事物は其形を外部に發現して客觀的實在となる前には先づ人々の内部に其觀念あらざる可からず、此觀念が即ち客觀的形式となる所以ならん。例へば送達と云ふ觀念は鐵道と云ふ實體を現出し而して其鐵道は亦其鐵道をして現出せしめたる觀

念即ち送達の念を益々有効ならしむ。之を事物に於ける精神活動の周環と云ふ尙詳に述べれば速達の觀念は之を鐵道と云ふ外形的方法に發現して初めて精神の壓迫を解除す可し。而して此壓迫こそ常時不斷の衝力にして鐵道の事業は絶えず此壓迫を解除しつゝあるなり、然るに此の鐵道にして不完全なるか亦是鐵道夫れ自身の目的を達せざるときは更に再び精神界に壓迫を生じ來るは自然の傾向なり。故に苟も鐵道の事業を起したる以上は能く其發達し來りたる歴史を省みて以て精神へ戻り來る所の壓迫を成る可く少くせざる可らず、左れば鐵道は固定的死灰的の物体にあらざして絶えず精神界を往來するの生活物と見做さる可からず。若し鐵道にして此精神界を離るゝときは即ち單に外形的物体たるに過ぎざる時は其鐵道は最

早真正の鐵道にあらざるなり、若し其鐵道にして其精神界に於ける根據を失ふときは最早鐵道は何等の効能なきものなり。故に其鐵道は寧ろ精神界の物体にして而して其精神界こそ寧ろ鐵道の實體にして亦其存在する所以の原則なり。學校並びに幼稚園に於けるも亦然り校園は寧ろ兒童の精神界に於ける觀念の外形的發現に外ならざる可し故に校園にして單に外形的のみに偏するときは校園の効驗焉くにあるか。

兒童には系統的教育作用を受けて發展せんとするの觀念あり即ち客觀的學校又は客觀的幼稚園を現出せしむる所以なり。然り而して此客觀的校園は亦順番に兒童の精神界に歸復して其の發展を促すものなり、故に此客觀的校園は常時不斷に再び兒童の精神的觀念に復歸せざる可からず、即

ち其元來の目的と照應せざる可からず、故に客觀  
 の校園と稱するものは兒童に於ける全精神作用中  
 の一片現象にして、若し此全精神作用の範圍を離  
 れて單獨に校園を設けるときは所謂無用の長物に  
 して、畢竟するに客觀的校園は兒童に於ける此  
 精神現象を實現したるに過ぎざるなり。即ち客觀  
 的校園は兒童の内心に於ける理想の壓迫を解除せ  
 んが爲めに生れ來りたるものにして、苟も校園の  
 設備方法にして此理想に適合せざるときは幾んど  
 校園の效用なきに至る可し。然るに世上一般の實  
 際に於ては教授方法を定め若くは訓育の方法を定  
 むるに此理由を解せずして徒らに校園夫れ自身の  
 外形上の性質より千遍一律に一定の規則を設定せ  
 んとするに似たり。恰も庖厨家が人々の食欲如何  
 を顧みずして猥りに山海の珍味を羅列すると一般

にして偶々來客をして食傷の弊害に至らしめざ  
 るも尚ほ何たる効驗をも生ずるに至らずして止む  
 と同一様に終らんのみ、蓋し百害ありて一利なし  
 とは之等を云ふにあらずして何ぞや。  
 之に由て之を見るときは今日幾多の學校并びに幼  
 稚園にありては宜しく此客觀的機關の何の爲め  
 に發達し來りたるかを考へ訓育の方法なり又は管  
 理の方法なり須らく之等の原則に基きて之を定め  
 ざる可からず。徒らに一定の強制的方法を以て之  
 を定むるも寧ろ膠柱の嘆を免れざる可し。殊に余  
 は幼稚園又は小學校の如き初等の學校にありて一  
 層之を主張するものなり。何となれば中等以上の  
 學校にありては已に生徒の年齢も長じ經驗もあ  
 り。多少生徒自ら自己の欲望と一致せざることあ  
 るときは其不満を外部に訴へんとする能力を有す

れども幼稚園小學校の兒童にありては斯の如き能力を有せざるなり。故に不満を感ずるも之を訴ふるの途を知らず。空しく之を忍びて終ればなり。故に局に幼稚園小學校に當るものは一層本論の必要を催がす所以なり。

雜 錄

女子高等師範學校彙報

▲臨時教員養成所 先般大學其他に設けられたる

▲臨時教員養成所廢止せられ、新に同校内に英語科

▲臨時教員養成所設けられたる由。

▲家事専修科 去る四月四日施行せられたる同科

入學試験の結果合格の上入學したるものは三十名

なりと云ふ(志願者二〇七名)左に記するは其試験

問題なり。

國語科

(二時間)

○解釋

(注意) 全篇ヲ通釋シ別ニ傍線ヲ引キタル字句ヲ

皇后陛下の御學問御盛徳等の事につき我等臣民の夙に傳承して感佩し奉る所固より枚擧に遠あらず今ここに友人より傳聞し又嘗て御側に咫尺して伺ひ奉りたる事の一條を述ぶべし

福羽美靜君余に語りて曰はく陛下には夙に女四書を御閲讀遊ばされたるものと見えて御前に伺候する人人に女四書にかくかくの事ありと仰せらるることあり……

抑、陛下の御盛徳は天稟の然らしむる所にして謂はゆる生知安行とも申し奉るべき事なるべけれども加ふるに御教育の御助ともなることありて聖益、聖といへる如き御聖徳に達したまへるものならむ即ちこの女四書の如きもその御教育の御助となりたるもの一つなるべしと察し奉らるる(細川男爵書記の文による)

○文法

- (一) 助動詞が動詞に連続する方法を詳記せよ
- (二) 左の語につきて知れることを記せ

さく ばかり まじ

數學科

(二時間)

- (一) 羅列「ナード」の復五圓、十圓カナル時、其羅列線ニ一尺ノ復回線ニ當ルカ但「ナード」ヲ3.018尺トシテ計